

近畿税政連



近税政HP

令和7年(2025年)

12月10日

第276号

〒540-0012 大阪市中央区谷町1丁目5番4号 電話(06)6944-9040 FAX(06)6944-9050 URL <https://kinzeisei.jp/> e-mail info@kinzeisei.jp

発行所 近畿税理士政治連盟 発行人 那須弘敬 / 編集人 小川宗彦



夜景に浮かぶミシガン (第2回写真コンテスト「幹事長特別賞」) 撮影: 小川 宗彦 (大津支部)

■ 令和8年度税制改正要望で協力要請	3
■ 高市内閣発足	15

焦点

税理士が行う政治活動の目的は、地域の生活環境やインフラ整備といった一般的な陳情ではない。私たちの政治活動は、税理士法第49条の11に定める建議権を根拠に、日本税理士会連合会が決定した税制改正建議書をベースとして、日本税理士政治連盟と共同で作成した税制改正要望書を携え、国会議員に対して陳情・説明を行うことにある。すなわち、党派や地域利害から距離を置き、納税者の利便性、公正・簡素で予見可能な税制、適正な税務行政の実現という公共性の高い目的に資する制度改善を、専門家として提言し続ける活動である。

では、税政連の「広報活動」とは何か。

たとえば、後援会取材記事を通じて発信し

税政連の広報活動とは

ている後援会の現場は、実は政策対話の入口である。そこには、各議員の政治活動の原点ともいえる「声」と「課題」が生きている。地域の現場で交わされる何気ない会話の中に、制度の矛盾や納税者の負担、そして次の改正につながるヒントが潜んでいる。私たち広報委員会の役割は、そのひとつひとつを丁寧に拾い上げ、紙面を通じて政策の筋道として可視化することだ。単なる会合報告に留めず、現場の熱を冷ますことなく、建議権に基づく「提言の記録」へと昇華させる。後援会の取材は、まさに税政連の理念を社会に伝える第一歩であり、私たちの真の代表を国政へ送り出すための確かな礎なのである。

(広報委員長 小川宗彦)

主張 初の女性首相 高市内閣発足

近畿税理士政治連盟副会長 田 達満

近畿税政連が支援している高市早苗衆議院議員（奈良 2 区）が自民党総裁に決定し、10月21日臨時国会での首相指名選挙で第104代首相に選出され、日本初の女性首相が誕生した。公明党の連立離脱により、自民・日本維新の会による連立政権で高市内閣が発足した。10月24日第219回国会において高市内閣総理大臣の所信表明演説が行われた。「今の暮らしや未来の不安を希望に変え、強い経済を作る」「世界の真ん中で咲き誇る日本外交を取り戻す」として経済財政政策の基本方針、物価高対策の最優先などを述べた。



田 達満 副会長

10月26日 A S E A N 首脳会議に出席し、28日トランプ大統領と首脳会談、30日から韓国での A P E C 首脳会議の機会に韓国李在明大統領、中国習近平国家主席との会談など高市首相の精力的な外交が超過密なスケジュールで続いた。

高市首相の持ち前の明るさで、今後大いなる活躍が期待される。

税政連の役割と活動

1. 税政連の役割

政局は大きく変わったが、われわれ税政連の役割は変わりません。

税理士会は税理士法により建議権が認められており、この建議権に基づいて税理士会は税制改正などの要望を行政に対して行っています。しかし、税理士会は税理士法に基づく強制加入の特別法人であり、政治活動を行うことには制限があります。そのため、税理士会に代わって政治活動を行うのが税政連の役割です。

2. 陳情活動と後援会の必要性

税法や税理士法の改正は、最終的に国会で審議され、法律として成立します。そのため、税理士会の意見を法律に反映させるためには、国会議員や政党等に対する陳情活動が不可欠です。

同時に活動の成果を高めるためには、理解のある国会議員に対する選挙支援活動も重要です。

そのために「税理士による国会議員等後援会」を結成し、国会議員と常日頃から連携を図ることで、国会の情勢や政界の情報を収集するとともに、税理士の要望や意見を十分に伝え、理解を得ていく必要があります。

3. 会費収納率向上の必要性

税政連が活発な活動をするためには費用が必要です。そのため、税理士ひとりひとりの協力が必要不可欠です。

すべての税理士会会員には「税制建議の実現」と「社会的・公共的使命を持った税理士制度の発展」のために、税政連の活動に対する十分な理解が求められます。

税政連活動の成果はすべての会員が等しく享受しています。税政連意識の向上、ひいては会費収納率の向上を強く求めます。

さらには、財政基盤強化のため税理士制度発展募金（税理士会の会報誌に同封）にも合わせてご協力をお願いします。

目次

焦点……………	1	高市内閣発足……………	15
初の女性首相 高市内閣発足……………	2	税理士制度発展募金協力者……………	15
政党懇談会・一斉陳情……………	3	本部・支部連・支部名簿一覧……………	16
後援会ニュース……………	4	かんさいすずめ……………	18
支部連ニュース……………	9	銀河系……………	18

政党懇談会・一斉陳情 ～令和8年度税制改正で協力要請～

8月28日に兵庫維新の会、9月22日に公明党兵庫県本部(Web)、10月27日に公明党大阪府本部との懇談会にそれぞれ参加し、10月23日には議員会館にて国会議員を訪問して、一斉陳情をおこなった。



兵庫維新の会



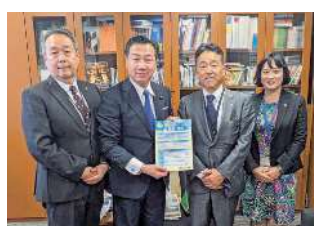
公明党兵庫県本部



公明党大阪府本部



西田昌司 参議院議員



福山哲郎 参議院議員



泉 健太 衆議院議員



宮本和宏 参議院議員



石川博崇 参議院議員



勝目 康 衆議院議員



杉 久武 参議院議員



赤羽一嘉 衆議院議員



関 芳弘 衆議院議員



松川るい 参議院議員



本田太郎 衆議院議員



石田真敏 衆議院議員



堀井 巖 参議院議員



池下 卓 衆議院議員



西村康稔 衆議院議員



吉井 章 参議院議員



前原誠司 衆議院議員



うへの賢一郎 衆議院議員



鶴保庸介 参議院議員



伊藤孝江 参議院議員

後援会ニュース

いさ進一後援会

開催日 令和 7 年 7 月 8 日

場 所 ホテルモントレ ラ・スール大阪

来 賓 いさ 進一 前衆議院議員

長谷川隆史 近税政幹事長

新田 博之 中山泰秀後援会会長



第 1 回定期総会は、平安座佐知子会員の司会により開会が宣言され、来賓の紹介に続き松井光浩会長のあいさつのあと、上田実副会長が議長に選出され、全ての議案は可決承認された。

議事終了後、来賓の長谷川隆史近税政幹事長のあいさつにより総会は終了した。続いて、いさ進一前衆議院議員の講演が次の通りあった。

現状、公明党の最終意思決定機関である中央幹事会に参加して、さまざまな政策を議論している。特に、物価高騰対策や働く世代の負担軽減などの重点課題実現のために、給付やさまざまな減税策を検討しているが、それらの継続的な実現に重要である財源確保を、外国為替資金特別会計などを利用したソブリン・ウェルス・ファンドにより、財源を育てられるように取り組みたい。

講演終了後、見浪一敏副会長のあいさつにより閉会した。

その後、旭輝明副会長の乾杯により懇親会が開会され、終始和やかに歓談がおこなわれ、神原隆雄副会長の中締めにより終了した。

(豊能支部 首藤裕之)

関よしひろ後援会

7 月 25 日、須磨海浜公園前和風荘にて、第 17 回定期大会が多数の会員が出席し開催された。

来賓に関芳弘衆議院議員、長谷川隆史近税政幹事長を迎え定刻に開会した。



長田義弘会長のあいさつのあと、吉川副幹事長を議長に選出し、議事の説明、討議のうえ全ての議事は可決承認された。

長谷川近税政幹事長より、昨年の衆議院選挙および今夏の参議院選挙での後援会会員の方々の支援に感謝の言葉があり、与党への風当たりが厳しいなか、兵庫は勝つことができた。今後も関議員の支援を熱望するとの話があった。

長田会長より「税制改正に関する建議・要望書」が関議員に手交された。

関議員からは「昨年の選挙では、大変に厳しい逆風のなか当選させていただき、先生方の熱い支援に心から感謝している。7 月の参議院選挙でも大敗したが、兵庫県では与党で 2 議席を確保。重ねて支援に感謝している。速やかに党の立て直しをしなければならない。兵庫県連の中でも意見集約をおこない改革していく。物価高問題にますます取り組んでいく。党の中小企業調査会の副幹事長としても、税政連の建議・要望をふまえ、実現に向けて努力していく」と最後に重ねて支援への感謝のことばが述べられた。

その後、懇親会が開かれ、率直な意見交換がおこなわれた。

(須磨支部 片岡幸造)

泉ケンタ後援会

税理士による泉ケンタ後援会第13回総会が、令和7年8月2日、都ホテル京都八条において開催された。

来賓として、泉健太衆議院議員、室谷澄男近税政副会長、中谷隆夫近税政京都府支部連会長、作見藏市税理士による福山哲郎後援会会長、芦田勝博同幹事長が出席した。



久保美雄会員の司会により開会し、谷明憲会長より「泉議員のことが大好きである。再び代表となり新しい立憲民主党を作ってほしい」と熱いエールが送られた。

総会終了後、室谷近税政副会長より「消費税単一税率に向け、引き続き要望していく」と。中谷支部連会長より「地域、国政で活躍されている泉議員には、税理士会の建議・要望実現に向けお願いする」とあいさつがあった。

その後、税制改正に関する建議・要望書が手渡され、泉議員による国政報告に移った。

「消費税単一税率の要望や、インボイスで苦勞されている事業者の実態を重く受け止め、党として税制改正要望をしていきたい。選挙結果を受け止め、選挙活動の在り方も考え、党のイメージを変えていきたい」と話し、さらに、ガソリン暫定税率廃止に向けての野党共闘、消費税の一時減税や、日米協議、改正下請法、さらには働き方改革などについても言及した。

作見福山後援会会長の乾杯で意見交換会が始まり、近藤明夫会員の中締めで和やかなうちに閉会した。
(下京支部 吉田和之)

こやり隆史後援会

開催日 令和7年8月2日

場 所 クサツエストピアホテル

来 賓 こやり隆史 参議院議員

小畑 雅人 近税政副会長

長谷川隆史 近税政幹事長



税理士によるこやり隆史後援会の第9回総会が、クサツエストピアホテルにおいて開催された。石川剛幹事長の司会のもと、和澤清隆会長の開会宣言、中村孔幸副会長の議事進行により、総会の議案はすべて可決承認された。小畑近税政副会長より「令和8年度税制改正に関する建議書が6月25日に日税連理事会で決議された。できるだけ多くの要望が実現するよう、また滋賀県内の会費収納率の向上をお願いしたい」とあいさつがあった。

こやり議員による国政報告では、日頃より皆様のご支援に心より感謝申し上げると述べた上で、とりわけ医療政策や社会保障制度の見直し、少子化対策などをめぐる課題に言及し「経済を支える中小企業の健全な発展には、地域の税理士の存在が不可欠であり、税理士のみなさまが果たす役割に深く敬意を表するとともに、政治が見落としがちな細やかな課題にも、みなさまとの連携を通じてしっかりと光を当てていきたい」とのあいさつがあった。

織戸英信支部連会長の乾杯で懇親会が始まり、終始和やかな雰囲気の中歓談が行われ、金子紀行相談役の中締めで散会となった。

(大津支部 小川宗彦)

松川るい後援会

8月18日、大阪キャッスルホテルにおいて、税理士による松川るい後援会第7回定期総会が開催された。来賓に、松川るい参議院議員、那須弘敬近税政会長、大阪府の各支部連会長の出席があり、総勢31人の総会となった。



串坂功幹事長の司会により開会が宣言され、今井基剛会長のあいさつのあと、全議案が、慎重審議の結果賛成多数により可決承認された。

なお、浅田恒博相談役から、収支予算案の会費収入についての質問と会員数の増加、およびその会費収入を有効に使っていくことが大切との話があった。

那須近税政会長からは、日本維新の会が全国的に勢いに陰りがあるためか、後援会の設立要請がどんどん来ている、とはいえわれわれの要望実現のためには政権与党である松川先生に頑張ってもらいたいとのあいさつがあった。

松川議員からの国政報告会では、夏の参議院選挙における大阪選挙区での自民党の比例票得票数が、前回の参院選の7割を下回っており危機的である、手取りを増やすとか日本人ファーストといった国民に刺さるキャッチコピーがなく、自民党が何を目指しているのか分からないという声を受け止めていかなければならない、といった話や、他にも、靖国参拝、日米関係、大阪経済とさまざまなテーマの報告があった。

山田裕一近税会常任監事の締めのあいさつの後、盛大な一本締めで閉会した。

(生野支部 文字和毅)

大串正樹後援会

開催日 令和 7 年 8 月 20 日

場 所 伊丹市立産業振興センター

来 賓 大串 正樹 衆議院議員

伊田 憲司 近税政副会長



岡田彰徳会長の開会宣言のあと、近田勝議長長の進行により議案は全て満場一致で可決承認された。

伊田近税政副会長による祝辞代読に続き、大串議員の国政報告会がおこなわれた。衆参両院の選挙で過半数を下回り、その敗因が石破氏にあるのか、あるいは安倍派の裏金問題にあるのかは定かではない。総裁選の前倒しや解散総選挙の可能性もあり、情勢は不透明である。

経済産業副大臣として米国との関税交渉に関与する中で、関税を下げず投資によって合意を得られたことを成果とし、中国依存を減らす必要性を強調した。また、ベトナムがトランプ大統領の電話一本で税率を決定したのに対し、日本は何度も協議を重ね、両国の利益が最大化される形で粘り強く交渉できた点を成果と位置づけた。今後は減税にとどまらず、税と社会保障の一体改革、財政出動、物価と賃金の調整を進める方針を示した。さらに、国民が安心できる「見える政策」の推進と党内改革を通じて、自民党の体制立て直しが急務であると述べた。

懇親会では参加者から多くの意見などが寄せられ、大串議員が丁寧に解説し、予定時間を超えて白熱した議論となり、大変有意義な場となった。

(西宮支部 東耕功)

石田真敏後援会

開催日 令和7年8月30日

場 所 ホテルいとう（和歌山県岩出市）

来 賓 石田真敏 衆議院議員

那須弘敬 近税政会長

堀 博充 近税政和歌山県支部連会長



定期総会は、司会の奥田崇喜会員による総会成立の報告とともに開催した。森村透会長のあいさつでは、石田真敏衆議院議員が区割り変更により比例区より選出され、ますます近税政および後援会会費納入者数を増やす必要があると訴えた。令和6年度定期総会の議案は、中尾彰会員の議事進行により、全て可決承認された。

次に、石田議員の国政報告会が行われた。昨今の自民党総裁選は騒ぎすぎのような感もある。早急にすべきことは、選挙結果を受けて反省すべきは反省し、政策ごとに協議し、連立を組むなどである。保守分裂した結果、今の少数野党は103万円の壁やガソリン暫定税率廃止など手柄争いばかりで、熟議しようとしなない。どこで連立を組むかなど、もっばらタイムリーな関心事について報告した。石田議員は自民党県連会長辞意を表明したが、続投案がでた。

来賓の和歌山県の出身である那須近税政会長は、後安宏彦近税政副会長の追悼の意を述べ、当日、石田真敏後援会に入会したばかりの堀和歌山県支部連会長が、税政連の役割について述べ、お祝いのことばとした。

(和歌山支部 小西里枝)

前原誠司後援会

税理士による前原誠司後援会第20回総会および国政報告会が、9月13日ホテルオークラ京都において開催された。

来賓として前原誠司衆議院議員、近税政より那須弘敬会長、長谷川隆史幹事長、近税政京都府支部連より高橋宏至会長が出席した。



北村光一郎会長より「京都で一番古い後援会となった。前原議員の圧倒的な力により長きにわたりわれわれの要望を国会に持って行っている」とあいさつがあった。

那須近税政会長より「令和8年度税制改正要望実現に向け、前原議員の力を発揮していただきたい」とあいさつがあった。

総会終了後、前原議員より「後援会を立ち上げこれまで支えていただいた方々に改めて感謝申し上げる。後援会活動のあり方としては要望に対し政府はどう考えているのかをお知らせすることがポイントだと考えている。また、今後、税の中で取り上げていきたいのは租税特別措置法を見直して、教育無償化やガソリン暫定税率廃止による減収分の財源を確保する。経済的事情による教育格差を是正し、若い世代に多様で質の高い教育を実現するとともに、子育て世帯への支援を強化する。また、現役世代の負担軽減となるような社会保険の改革にも取り組んでいく。少数与党であることをてこにして政策実現を図っていきたい」と国政報告があった。

国政報告会のあと、和やかに懇親会が開催された。
(下京支部 吉田和之)

山口つよし後援会

開催日 令和 7 年 9 月 19 日

場 所 龍野経済交流センター

来 賓 相内 隆作 近税政副会長

春名 毅 兵庫県第 4 支部連会長



税理士による山口つよし後援会の第16回定期総会は武内雅伸幹事の司会のもと、柴原恵一会長のあいさつにより開会した。

議長に原満弘副会長が選ばれ、ただちに議案の審議に入り、すべての議案について原案どおり可決承認した。

議案審議終了後、相内近税政副会長によるあいさつ、および那須弘敬近税政会長からのメッセージの代読がされた。次いで春名第4支部連会長のあいさつ、そして、山口つよし衆議院議員からのメッセージを秘書の寺田敏志が代読した。

最後に、花房賢司副会長の閉会のあいさつにより定期総会は終了した。

【山口つよし衆議院議員メッセージ】

平素から格別のご支援、ご指導を賜り衷心より感謝申し上げます。また税に関わる専門家として納税義務者の信頼に応え、公正かつ適正な税制の実現および納税環境の整備にご尽力いただいていることに深く敬意を表します。国の将来を見据え、安心して暮らせる国づくりと、日本経済を支える中小企業の発展のために、全力で頑張らせていただきます。

(姫路支部 板倉宏行)

世耕弘成後援会

開催日 令和 7 年 9 月 21 日

場 所 ダイワロイネットホテル和歌山

来 賓 世耕 弘成 衆議院議員

那須 弘敬 近税政会長

長谷川隆史 近税政幹事長



税理士による世耕弘成後援会令和 6 年度定期総会は、堀博充和歌山県支部連会長の司会で始まった。速水慎一郎会長のあいさつでは、衆議院に鞍替え当選後初めての総会を開催するにつき、役員改選では、2 区の会員を中心に選任したいと報告があった。

額田朋子会員が議長となり、令和 6 年度決算報告、令和 7 年度予算案、役員改選の全議案が可決承認された。来賓の那須近税政会長のあいさつでは、世耕議員とのエピソードを交えて定期総会のお祝いを述べた。続いて、長谷川近税政幹事長からのあいさつがあった。

世耕議員の国政報告では、自身の離党から衆議院解散後、立候補する決意について語り、当選後無所属でも何ら変わらないと力強く述べた。そして、10 月 4 日の総裁選について、候補者全員をよく知る議員は、各候補者の特徴と今後、自民党はどうあるべきか述べた。

瀬藤啓司会員の開会のあいさつで始まった懇親会では、世耕議員は、会員ひとりひとりの声を聞いてまわり、最後は、溝上相談役の中締めのもと、議員は、本日出席の会員全員と握手して散会した。

(和歌山支部 小西里枝)

支部連ニュース

大阪府第一支部連

大阪府第一支部連合会第30回定期大会が8月18日大阪キャッスルホテルで開催された。



来賓として、松川いり参議院議員、杉久武参議院議員、柳本顕前衆議院議員、大西宏幸元衆議院議員、左藤章元衆議院議員、那須弘敬近税政会長、長谷川隆史近税政幹事長、今井基剛松川いり後援会会長、若林日出紀大西宏幸後援会会長が出席した。

古川貴博幹事長が司会を務め開会を宣言した。岩崎勇作会長から、会長となって何もわからない中、選挙応援などでやりがいのあるいろいろな貴重な経験を積ませていただき感謝しており、無事に次期会長に引継ぎできることになりそうですとあいさつがあった。

次に本間浩会員が議長に選出され、上程された議案は、慎重な審議のうえ全て賛成多数により可決承認された。続いて那須弘敬近税政会長が、令和8年度の税制改正の活動報告および税政連活動のためのさらなる会費収納率の向上のお願いをした。

小休止後、国政報告会が開催された。松川議員より税理士による後援会活動に感謝している旨の表明がされた。また、参議院選挙、自民党の総裁選等について詳細に報告された。また杉議員、柳本前議員、大西元議員、佐藤元議員より参議院選挙、衆議院選挙の多大な応援に感謝しているとの報告があった。(天王寺支部 鎌倉邦裕)

大阪府第2支部連

開催日 令和7年9月2日

場 所 ホテルモントレ ラ・スール大阪

来 賓 伊佐 進一 前衆議院議員

國重 徹 前衆議院議員

中山 泰秀 元衆議院議員

橋本 光世 近税政総務会長

新田 博之 中山泰秀後援会会長

松井 光浩 伊佐進一後援会会長

谷口 嘉信 國重徹後援会会長



平田義明幹事長が司会を務めて開会を宣言した。坂本篤宣会長から税政連の税理士会との関係、目的、必要性について説明された。今後の発展を祈念するとのあいさつがあった。

前会長の大淀支部の坂本善也會長が議長に選出され、上程された全ての議案が審議され、可決承認された。

次に来賓の橋本光世近税政総務会長があいさつした。税理士にとって税政連活動の必要性、その活動の資金となる会費の収納の必要性を述べた。

国政報告会では、中山元議員は現在の政治の状況について、伊佐前議員は自らの動画配信について、國重前議員は税理士の訴訟リスクについて話をした。

大会の終了後、懇親会が開催され、城東支部の富岡幹事長の司会のもと、会員同士が和やかに懇親し、盛会のうちに閉会した。(支部連寄稿)

大阪府第 3 支部連

8 月 26 日、第 44 回定期大会がホテルアイボリー（豊中市）において開催された。

来賓として池下卓衆議院議員、萩原佳衆議院議員、とかしきなおみ前衆議院議員、那須弘敬近税政会長、長谷川隆史近税政幹事長が出席した。



吉本英明副幹事長の司会のもと開会が宣言され、田中順也会長より「今後も本部と連携し、幅広い税制改正要望を行いたい」とのあいさつがあった。森田茂稔相談役が議長に選任され、全ての議案が可決承認された。議事終了後、宮口太新会長より「若手の税政連への参加を促進したい」との就任のあいさつがあった。

続いて次のような来賓のあいさつがあった。

●池下衆議院議員「税制改正に関する建議・要望を受け取ったので、国政に反映させたい」

●萩原衆議院議員「税理士にとってあたり前のことが政治ではそうではない。税理士の要望を国に届けたい」

●とかしき前衆議院議員「税理士とともに日本の税制がどうあるべきかを考え、国民に説明することが必要である」

那須近税政会長のあいさつでは、参院選への協力の感謝と今後の陳情活動についての説明、会費の納入と税理士制度発展募金への協力をお願いがあった。

定期大会終了後、長谷川近税政幹事長の乾杯の発声により懇親会が開催され、盛会のうちに閉会した。
(茨木支部 小山正之)

大阪府第 4 支部連

開催日 令和 7 年 9 月 3 日

場 所 ホテルアウィーナ大阪

来 賓 田 達満 近税政副会長



濱田明久 支部連会長

石橋明史副幹事長の司会のもと、正木隆行副会長により開会宣言があり、第 42 回定期大会が開催された。濱田明久会長より、税政連の活動目的、後援会活動、支部連の組織についての説明があった。また、支部連として、近税政全体の平均を上回っている会費収納率を「維持」させることが重要であり、税政連活動へのご理解とご支援をお願いしたいとのあいさつがあった。

次に、嶋田薫副会長が議長に選出され、米満信昌幹事長により議案が詳細に説明され、吉田信次監事より監査報告があった。議事に入り、第 1 号議案から第 5 号議案まで、原案どおり、すべての議案について可決承認された。

続いて、来賓として田達満近税政副会長より、第 4 支部連の会費収納率が常に高いことに対するお礼が述べられた。さらに、国会への要望を実現させるために税政連が重要な役割を果たしており、会費収納率も含めてさらなるご協力をお願いしたいとのあいさつがあった。

その後、森勇人副会長より閉会のあいさつがあり、引き続き高田芳文副幹事長のあいさつと乾杯で懇親会が開催された。終始和やかな雰囲気の中で意見交換がおこなわれ、坪田真治副幹事長の締めで閉会となった。

(東大阪支部 首藤直樹)

大阪府第5支部連

開催日 令和7年9月3日

場 所 ホテルレイクアルスターアルザ泉大津

来 賓 那須 弘敬 近税政会長



田中洋 新支部連会長

田口誠幹事長が開会を宣し、物故者への黙とうののち、吉田英明会長から次のとおりあいさつがあった。

「今大会をもって会長を退任することとなっている。各役員、とくに幹事長と財務委員長にはたいへんお世話になった。この在任期間中には、衆議院議員総選挙と参議院議員通常選挙と2つの選挙があり、会員には電話応援などしていただいた。おかげで応援した候補者の多くが当選することができた。お礼を申し上げる。また、会員の協力もあり会費収納率も微増となったことも報告させていただく」と述べた。

会長あいさつのあと岸和田支部の寺井秀次会員を議長に選任し、議事録署名人を指名したのち、役員改選案を含む上程された各議案について慎重審議の結果、すべての議案が可決承認された。新会長には泉佐野支部の田中洋会員、新幹事長には泉佐野支部の高橋克広会員および各役員が就任した。来賓の那須近税政会長のあいさつを最後に大会は終了した。

大会終了後、開催された懇親会には、谷川とむ前衆議院議員、山本香苗前参議院議員、杉本太府会議員および松浪武久府会議員が参加され、盛会のうちに散会した。

(堺支部 大谷富太郎)

京都府支部連

第43回定期大会が8月29日にホテルグランヴィア京都において開催された。



左から藪壽人新幹事長、高橋宏至新会長、中谷隆夫前会長

来賓として近税政本部からは那須弘敬会長、長谷川隆史幹事長、近税会京都府支部連より川勝高博会長、衆議院議員の勝目康、参議院議員では西田昌司、吉井章の各人、西脇隆俊京都府知事、竹内重貴京都市副市長などが出席した。

定期大会は中村高広副会長が司会者となり開会を宣言し、中谷隆夫会長のあいさつに続き北尾剛久会員が議長となり議事に入った。

議案として高橋宏至幹事長は第1号議案から第6号議案までを説明し、慎重審議の結果、すべての議案が可決承認された。

本大会の役員改選により就任した高橋宏至会長は旧役員への慰労と新役員の紹介のうえ、各機関と協力して税政連活動を進めていく旨を宣言した。

那須会長の祝辞では後援活動に際し税制改正に関する6項目の重点要望と10項目の建議・要望項目を建議した。続いて川勝会長は支部連のスローガンとして全京都で活動すると述べた。

国会議員からは本年の参議院選挙などについて、西脇知事は府政について、竹内副市長は財政健全化について、それぞれ協力のお礼があった。

定期大会は松岡保彦副会長の閉会のことばで無事終了し、懇親会は富村将之会員が開演のことばを述べ、最後に鹿野幸裕会員の万歳三唱により終演した。

(右京支部 平野烈)

兵庫県第一支部連

開催日 令和 7 年 8 月 30 日

場 所 神戸三宮東急 R E I ホテル

来 賓 赤羽 一嘉 衆議院議員
関 義弘 衆議院議員
西村 康稔 衆議院議員
末松 信介 参議院議員
伊藤 孝江 参議院議員
加田 裕之 参議院議員
高橋 光男 参議院議員
盛山 正仁 前衆議院議員
内田 公章 神戸税理士協同組合理事長
長谷川隆史 近税政幹事長



兵庫県第一支部連合会第44回定期大会は、山口竜義幹事長の司会のもと、蟬川寛嗣会長のあいさつにより開会され、全ての議案は可決承認された。今回は役員改選が行われ、桑原幸司会長、高次利彰幹事長をはじめとする体制での新年度がはじまった。

続いて来賓よりあいさつがあった。各議員からは、日頃の支援に対する感謝の意と共に、日々の情勢について報告がなされ、令和 8 年度の税制改正に関する重要建議・要望項目については、税理士先生方との意見交換を重ねながら、実現できるように取り組んでいきたいと述べた。

最後に壽信明組織委員長による閉会のあいさつにより、定期大会は終了した。

続いて桑原会長による乾杯の発声より懇親会が開催され、終始和やかな中、意見交換が行われ、閉会した。(芦屋支部 吉田智代)

兵庫県第2支部連

開催日 令和 7 年 8 月 22 日

場 所 ホテルキャッスルプラザ (明石市)

来 賓 池田 直樹 近税政副幹事長



定期大会は藤田道広幹事長の司会のもと、開会宣言の後、来賓の紹介がおこなわれ、藤本晃会長より開会のあいさつがあった。

続いて、第 1 号議案から第 5 号議案までの議案の上程があり、すべての議案が慎重審議のもと原案通り可決承認された。

次に、藤本会長より支部連において会費収納率の向上を目的にもうけられている表敬制度のできた経緯や表彰基準等の説明があり、本年度にこの基準を達成した社支部に対し感謝賞が贈られた。

最後に、藤本会長より「自らが入会当初何もわからなかったので作成した」とされた兵庫県第 2 支部連マニュアルを基に、税政連での支部連の立ち位置、人的構成、本部への委員派遣および交付金の流れ等の内容を、対本部および構成支部への事務を含めてこれも自ら作成された年間事務スケジュール表を使用した大変解かりやすい説明があり、定期大会は滞りなく閉会した。

引き続き、池田近税政副幹事長のあいさつと乾杯の発声により懇親会が開催され、終始和やかな雰囲気の中で意見交換が行われ、兵庫県第 2 支部連推薦の出雲有希子明石市会議員より議員活動のあいさつもあり、懇親会は盛会のうちに閉会した。(加古川支部 菖蒲茂)

兵庫県第3支部連

9月3日、尼崎市中小企業センターにて兵庫県第3支部連定期大会が開催された。小塩支部連会長の丁寧な説明により大会議案は全て満場一致で可決承認された。



伊田憲司近税政副会長による那須会長の祝辞代読に続き、長谷川隆史近税政幹事長から政治連盟の具体的な取り組みや活動を踏まえ意義について凝縮した解説があった。中野洋昌国土交通大臣からの祝辞では、民主主義の根幹である租税制度の公平かつ公正な運用の重要性に触れるとともに、激甚化・頻発化する災害への対応として、国民の安全・安心を守るための社会資本整備を推進していく旨を述べた。

続いて行われた大串正樹衆議院議員の国政報告では、経済産業副大臣として携わった関税交渉における苦労やその裏側について解説があり、さらに参議院選挙後の少数与党としての国政運営の難しさ、自民党総裁の去就問題にも言及し「国益と政治の安定のため、政府としてしっかりと職責を果たさなければならない」との決意を示した。さらに昨今の選挙では既存政党よりも目新しくキャッチーなフレーズを掲げる政党に注目が集まる傾向にあるが、税理士も政治家も同様に「経験」が仕事の質を高めるうえで不可欠であり、その経験や実績によって評価していただきたい、加えて有権者に、分かりやすく政治の意義を伝えられるよう努めていきたいと締めくくった。

(西宮支部 東耕功)

兵庫県第4支部連

令和7年9月2日、姫路商工会議所において兵庫県第4支部連合会の第44回定期大会が開催された。来賓として那須弘敬近税政会長と松本たけあき衆議院議員代理が出席した。



定期大会は、一ノ瀬修造幹事長の司会のもと春名毅会長のあいさつにより開会した。

続いて河村毅美会員が議長に選ばれ議案の審議に入り、役員改選を含む全ての議案について原案どおり可決承認するとともに次期執行部の全役員が決定した。

議案審議終了後は、松本議員からのメッセージの代読、那須近税政会長のあいさつ、山口つよし衆議院議員からの祝電の披露と続き、最後に武内雅伸副会長による閉会のあいさつをもって定期大会は終了した。

【松本たけあき衆議院議員】

税政連活動に敬意を表しますとともに、日ごろからのご指導・ご支援に、厚く御礼申し上げます。また、地域活性化の原動力である中堅・中小の商工業者にとって必要な税制を実現し、活力ある社会をつくるため、ご活躍いただくことを心よりお祈り申し上げます。

【山口つよし衆議院議員】

公正・適正な税制の実現と納税環境の整備へのご尽力について感謝と敬意を表します。安心して暮らせる新しい国づくりと、日本経済を支える中小企業の発展のために、全力で頑張らせていただきます。

(姫路支部 板倉宏行)

奈良県支部連

8月30日に春日ホテル（奈良市）にて定期大会が開催された。景山良一会長が議長となり、全議案が可決承認された。



その後、各議員へ後援会会長から令和8年度の税制改正に関する建議・要望書が手渡された。来賓のあいさつは次の通り。

田野瀬太道衆議院議員：自民党は結党70周年を迎える。歴史的惨敗は15年周期でやってくる。国民政党に生まれ変わるためには、10月の臨時国会の前に総裁選をして選挙のけじめをつける必要がある。

小林茂樹衆議院議員：西大寺駅前が変わってきた。バス通りが拡幅され信号が付いた。飲食店も新規出店するだろう。駅前開発は経済発展の基盤なので、都市再生に貢献する。力を緩めずに進めて欲しい。

佐藤啓参議院議員：今回の参議院選挙で自民党は人気が無かった。理由の1つは保守層が離れたこと。2つ目は、20代、30代が自民を見放していること。物価上昇率は3%で、賃金が3%上がったのは国内6,800万人の働き手のうち18%。国民の殆どが苦しい生活にあることを受けとめて心にささるような政策を実行できなかったことが大惨敗の原因。総裁選を前倒して、政策議論をする必要がある。

続いて、高市早苗衆議院議員（秘書）、堀井巖参議院議員（秘書）、山本眞市近税政副会長、埴田弘之近税会奈良県支部連会長のあいさつがあった。
（奈良支部 西口まゆり）

和歌山県支部連

開催日 令和 7 年 8 月 30 日

場 所 ホテルグランヴィア和歌山

来 賓 石田 真敏 衆議院議員

山本 大地 衆議院議員

那須 弘敬 近税政会長



令和6年度定期大会は、井上雅貴会員の司会により開会し、堀博充会長のあいさつの後、定期大会が開催された。第1号議案から第4号議案までの全ての議案が、瀬藤啓司議長による議事進行のもと可決承認された。

続いて、来賓の山本大地衆議院議員と那須弘敬近税政会長より祝辞があり、最後に、尾崎幸宏副会長のあいさつをもって、定期大会は閉会した。

大会終了後、来賓の石田真敏衆議院議員からの国政報告があり、令和7年7月20日に行われた参議院選挙を踏まえ、自民党が衆議院および参議院両院で少数与党となったことに触れ、自民党と公明党だけでは政策決定が困難となり「混迷の時代の始まり」について説明された。

その後の懇親会は、鵜島幸夫支部連副会長の乾杯の発声で開会し、来賓の国会議員と出席した各会員が積極的に意見を交換し、各種給付金の支給にいたった経緯や税制改正など実務に関連した内容について活発な議論がなされ、盛会のうちに閉会した。

（和歌山支部 宮下智之）

滋賀県支部連

9月1日、ホテルボストンプラザ草津において、第44回定期大会が開催された。

今井正人副会長の開会宣言に続き、最初に織戸英信会長より、県内の税理士全員で税政連活動を盛り上げていきたいとのあいさつがあった。来賓の那須弘敬近税政会長からは、去る6



織戸英信 支部連会長

月26日、日税政が令和8年度税制改正要望を機関決定したことが報告され、今後この要望書を携えて陳情活動を行うので、会員の協力をお願いしたいとのあいさつがあった。

続いて来賓の武村展英衆議院議員からは、税理士のクライアントである中小企業の負担を軽減し、活力ある税理士制度を築けるよう尽力する所存であり、今後ともご指導を賜りたいとのあいさつがあった。その後の議案審議では、小澤賢治会員が議長に選出され、直ちに議事に入った。古澤宏之幹事長から第1号議案から第5号議案まで順次審議され、いずれも可決承認され、定期大会は滞りなく終了した。

引き続き行われた懇親会には、来賓の宮本和宏参議院議員も加わり、活発な意見交換が行われ、有意義な交流の場となった。

(大津支部 小川宗彦)

高市内閣発足

6名の関係国会議員が入閣

内閣総理大臣	高市 早苗	自民	衆・奈良2区
厚生労働大臣	上野 賢一郎	自民	衆・滋賀2区
内閣官房副長官	佐藤 啓	自民	参・奈良県
外務副大臣	堀井 巖	自民	参・奈良県
文部科学副大臣	小林 茂樹	自民	衆・比例近畿
経済産業副大臣	山田 賢司	自民	衆・兵庫7区

税理士制度発展募金(令和7年度) ご協力に感謝いたします

令和7年7月1日～令和7年11月10日までに、以下の47人の会員先生方にご協力いただきました。厚く御礼申し上げます。

〔東支部〕 石原慎一郎 大西栄三郎 楠 知典 那須 活也 松原 博吉 〔西支部〕 明石 智次 〔南支部〕 平 剛史	〔北支部〕 佐藤 眞治 那須 弘敬 廣尾 大輔 〔福島支部〕 小泉 丹二 〔旭支部〕 旭 輝明 松井 良枝 〔城東支部〕	前野 雄輝 〔枚方支部〕 大森布実子 〔天王寺支部〕 嶋仲 直隆 濱田 靖宏 〔阿倍野支部〕 若原 國宏 〔住吉支部〕 大和 司	〔富田林支部〕 植村 知郎 〔東大阪支部〕 大井 岳平 〔堺支部〕 柴田 正吉 〔泉大津支部〕 笠井 慎五 〔岸和田支部〕 田口 誠	〔茨木支部〕 神山 昌子 谷井 肇 仲 猛夫 船木 由子 船橋 充 山内 幹雄 吉永 直也 〔豊能支部〕 沖名子祐光	〔下京支部〕 小島 昭 〔左京支部〕 原 謙介 〔東山支部〕 作見 藏市 〔宮津支部〕 山添 謙三 〔峰山支部〕 平田 保則	〔神戸支部〕 沖村 朝之 永野 卓美 〔灘支部〕 長谷川隆史 〔尼崎支部〕 藤井 英樹 〔姫路支部〕 中畑 昭一 中水 一成	〔奈良支部〕 西口まゆり 森田 務 〔和歌山支部〕 小西 里枝 〔大津支部〕 小川 宗彦
--	---	---	---	---	---	---	--

※随時募金を受付しております。振込方法など詳細につきましては、同封の別紙「税理士制度発展募金へのご協力をお願い」をご覧ください。

本部6委員会構成員

	政策委員会	財務委員会	組織委員会	国対委員会	広報委員会	後援会対策委員会
担当副会長	小畑 雅人(今 津)	田 達満(住 吉)	相内 隆作(神 戸)	出川 洋(葛 城)	矢田 善久(上 京)	室谷 澄男(上 京)
委 員 長	和田 浩孝(豊 能)	吉田 智代(芦 屋)	池田 直樹(灘)	額田 朋子(和歌山)	小川 宗彦(大 津)	山本 敬三(天王寺)
副 委 員 長	仲田むつみ(西淀川) 山川 典男(阿倍野) 今村 亮彦(旭)	若林日出紀(南) 服部 浩之(住 吉) 米澤 博充(東 山)	梅崎 道夫(東) 山内 幹雄(茨 木)	檜垣 典仁(浪 速) 太田 聡(茨 木) 山口 孝浩(東淀川)	大谷富太郎(堺) 小西 里枝(和歌山) 小林 由香(中 京) 西口まゆり(奈 良) 吉川 孝二(草 津)	松尾 康弘(茨 木) 森本 勝志(住 吉) 島 紀郎(和歌山)
委 員						
大阪府第1	辻井 敏郎(天王寺)	鈴木 義教(浪 速)	箕村 保(東)	板倉 学(東 成)	鎌倉 邦裕(天王寺) 文字 和毅(生 野)	地久里康和(東住吉)
大阪府第2	岩田 直樹(福 島)	梶本 紀子(大 淀)	井上 泰正(北)	神谷 雅信(東淀川)	松井 孝允(門 真) 平田 義明(枚 方)	増尾太三郎(旭)
大阪府第3	中村 光子(茨 木)	岩佐 伸彦(豊 能)	大内 将弘(吹 田)	吉本 英明(豊 能)	首藤 裕之(豊 能) 西村 亮祐(茨 木)	榎本 正孝(茨 木)
大阪府第4	倉内 雅寛(八 尾)	吉田 信次(東大阪)	波間 将吾(東大阪)	平山登志雄(富田林)	荒木 豪(東大阪)	永井 成武(東大阪)
大阪府第5	山本 光男(泉佐野)	糊 智至(泉佐野)	大西 博己(泉大津)	池田真由子(堺)	一	山田 晴彦(岸和田)
京 都 府	鹿野 幸裕(上 京)	井上 雅之(右 京)	室元 剛(下 京)	池田 雅樹(宇 治)	吉田 和之(下 京) 平野 烈(右 京) 西澤小百合(東 山) 北尾 剛久(下 京)	松永 幸大(中 京)
兵庫県第1	長田 義博(須 磨)	岡村 景明(灘)	壽 信明(神 戸)	垣見 芳正(芦 屋)	片岡 幸造(須 磨) 岡田 祐典(芦 屋)	赤松 健二(神 戸)
兵庫県第2	檜原 一(社)	伊藤 優(西 脇)	守屋 良彦(三 木)	濱野 陽子(洲 本)	竹内 一男(加古川)	出雲有希子(明 石)
兵庫県第3	小倉 啓浩(尼 崎)	藤原 覚(西 宮)	林 文彦(伊 丹)	宅和 明彦(西 宮)	百合草裕康(尼 崎)	岡田 彰徳(伊 丹)
兵庫県第4	濱田 誠二(姫 路)	毛利 進士(姫 路)	中川 直美(龍 野)	河村 敦(相 生)	板倉 宏行(姫 路)	武内 雅伸(龍 野)
奈 良 県	森村 博史(葛 城)	中西 康晴(葛 城)	今崎 善彦(奈 良)	藤田 徹(葛 城)	東 真由美(奈 良) 角井 崇文(葛 城)	高田 雅信(桜 井)
和 歌 山 県	中 慎之介(和歌山)	谷井 茂紀(和歌山)	橋爪 康樹(海 南)	藤原 光男(和歌山)	宮下 智之(和歌山)	加藤 和也(海 南)
滋 賀 県	林 貞治(草 津)	川井 尚子(水 口)	山本 治三(近江八幡)	中川裕季子(彦 根)	岡田 博之(大 津)	田中 新史(長 浜)

支部連会長・幹事長

支部連名	支部連会長	支部連幹事長
大阪府第1	古田 敦彦(生 野)	赤尾 滋樹(生 野)
大阪府第2	村川 儀晃(城 東)	富岡 陸夫(城 東)
大阪府第3	宮口 太(茨 木)	渡邊 義一(茨 木)
大阪府第4	濱田 明久(東大阪)	米満 信昌(東大阪)
大阪府第5	田中 洋(泉佐野)	高橋 克広(泉佐野)
京 都 府	高橋 宏至(中 京)	藪 壽人(下 京)
兵庫県第1	桑原 幸司(灘)	高次 利彰(灘)
兵庫県第2	野村秀次郎(明 石)	大野 博明(明 石)
兵庫県第3	古林 将史(尼 崎)	山根 博(尼 崎)
兵庫県第4	春名 毅(姫 路)	一ノ瀬修造(姫 路)
奈 良 県	景山 良一(奈 良)	寺脇 淳司(葛 城)
和 歌 山 県	堀 博充(和歌山)	島 紀郎(和歌山)
滋 賀 県	織戸 英信(大 津)	地村 秀磨(今 津)



大阪府連合会構成員

役 職	氏 名	役 職	氏 名
会 長	田 達満(住 吉)	幹事長	赤尾 滋樹(生 野)
副会長	古田 敦彦(生 野) 村川 儀晃(城 東) 宮口 太(茨 木) 濱田 明久(東大阪) 田中 洋(泉佐野)	構成員	富岡 陸夫(城 東) 渡邊 義一(茨 木) 米満 信昌(東大阪) 高橋 克広(泉佐野)

兵庫県連合会構成員

役 職	氏 名	役 職	氏 名
会 長	相内 隆作(神 戸)	幹事長	高次 利彰(灘)
副会長	桑原 幸司(灘) 野村秀次郎(明 石) 古林 将史(尼 崎) 春名 毅(姫 路)	構成員	大野 博明(明 石) 山根 博(尼 崎) 一ノ瀬修造(姫 路)

支部長・支部幹事長

	支部	支部長	支部幹事長		支部	支部長	支部幹事長		支部	支部長	支部幹事長		支部	支部長	支部幹事長
大阪府第1	東	梅崎道夫	三谷 智	大阪府第4	東大阪	嶋田 薫	吉田信次	兵庫県第1	神戸	大野秀朋	沖村朝之	奈良県	奈良	大平浩司	小野原剛
	南	若林日出紀	堀 浩司		富田林	正木隆行	坪田真治		灘	高見 悟	岡村景明		桜井	足立 圭	嶋村省志
	西	山本仁昭	田坂隆司		八尾	森 勇人	溝淵一也		芦屋	山本勝美	五十嵐真司		葛城	森村博史	藤田 徹
	港	三浦正人	秋山隆之	堺	本荘幸正	池田真由子	兵庫		前田得雄	石田晃啓	吉野		金田光司	平巳智久	
	天王寺	市口恭司	後藤敬介	大阪府第5	泉大津	笠井慎五	真奥 隆	兵庫県第2	長田	高井秀樹	與 尚久	和歌山県	和歌山	鶴島幸夫	沼崎健一
	浪速	岩崎勇作	古川貴博		岸和田	田口 誠	山田晴彦		須磨	寺嶋芳朗	上月章嗣		海南	井上雅貴	加藤和也
	生野	古田敦彦	赤尾滋樹		泉佐野	河野光宏	山本光男		明石	野村秀次郎	大野博明		粉河	金川任孝	奥田崇喜
	東成	本間 浩	板倉 学		京都府	上京	中村高広	矢田善久	兵庫県第3	三木	小藤貴雅		鷺見英人	滋賀県	湯浅
	阿倍野	高橋賢二	山川典男	中京		高橋宏至	高島良彦	西脇		池田和史	前崎暁彦	御坊	名倉健三		石永善裕
	東住吉	日野上達也	地久里康和	下京		藪 壽人	室元 剛	社		柳瀬誠之	井上健二	田辺	尾崎幸宏		竹中与志応
	住吉	森本勝志	田中敏洋	左京		草木隆行	北村光一郎	洲本		濱野陽子	真野陽一	新宮	瀧岡俊太		下前隆博
西成	中山 彰	神原陽平	東山	長谷川幸友子		米澤博充	兵庫県第4	加古川	小牧清彦	竹内一男	大阪府第3	大津	安藤大輔	佐川雅也	
大阪府第2	北	吉岡奈美	辻 一磨	伏見		中川秀夫		高屋豊明	柏原	谷垣裕幸		溝畑好美	今津	丹治健一	河原田新市
	大淀	坂本善哉	林 善一	右京		藤田高広		谷 明憲	豊岡	堀上 勝		田里有香	彦根	村木雅直	中川裕季子
	旭	宮下公司	今村亮彦	園部		松岡保彦		川勝高博	和田山	山下廣司		池田和昭	長浜	居林裕樹	高津ちはる
	福島	深山 茂	岩田直樹	福知山		船越成人	榎原博雄	伊丹	青木芳雄	今田幸史		草津	中村孔幸	林 貞治	
	城東	村川儀晃	富岡陸夫	舞鶴		上原正夫	竹原正人	西宮	上月宏之	藤原 覚		近江八幡	奥居長生	山本治三	
	西淀川	吉住隆弘	酒井勇樹	宮津		山井嘉文	西田文明	尼崎	古林將史	井上尚信		水口	倉本貴夫	鈴木智博	
	東淀川	神谷雅信	西 義雄	峰山		本井哲也	井本篤志	姫路	春名 毅	一ノ瀬修造					
	枚方	坂本篤宣	平田義明	宇治		米田 茂	池田雅樹	龍野	中川直美	木村年伸					
門真	畠山政己	近藤克彦													
大阪府第3	吹田	林田 健	大内将弘												
	豊能	田中順也	吉本英明												
	茨木	神園兼治	渡邊義一												

自民党総裁に初の女性が就任したら、自公政権が終了、批判的論調があふれていた。しかし、新たな枠組みを構築し維新との自維政権が誕生、初の女性総理が誕生した。国内外にさまざまな課題があり、難しいかじ取りとなるだろうが、久しぶりの高支持率となっており、日経平均株価も過去最高を更新した。政界の逼塞感を払拭し、新しい流れを期待できそうである。初めての女性首相でもあり、女性参画社会の象徴となるように期待し、頑張って応援したいものである。



(天王寺支部 鎌倉邦裕)

前回のかんさいすずめで楽しいMT車を各メーカーに出して欲しいと書きましたが、ここ数年日本の各メーカーもそのような車を出し始めてきました。今年は縁がありスポーツドライビング可能かつ4ドア5人乗りと普段乗りもできる国産MT車を買うことができました。パワーやトルクもありますが、ステアリングフィールやトルク配分を設定で替えられるほか、シフトダウン時に回転数を自動で瞬時に調整してくれるなど、燃費は悪いですが乗るのが楽しくなる車です。10年以上乗った前の車と同じくこの車も長く乗ろうかと思っています。

(姫路支部 板倉宏行)

10月13日・14日と不動産関係NPO法人の仲間と播州赤穂へ旅行に行ってきました。赤穂は言わずと知れた赤穂浪士ゆかりの地です。毎年12月14日には、赤穂義士祭が開催されるようです。宿は銀波荘という瀬戸内海を一望できて、季節の料理が楽しめる処でした。2日目は姫路城を観光したのですが、ここでもインバウンドが多数おられて、多言語が飛び交っていました。久しぶりの旅行でしたので、満足して帰ってくることができました。

(奈良支部 東真由美)

近税政本部のうごき

○第2回広報委員会 (9月12日)

- ・「第3回写真コンテスト」報告 他

○第2回正副幹事長会 (10月21日)

- ・本部役員について 他

○第2回幹事会 (10月21日)

- ・本部役員について 他

○第2回総務会 (10月21日)

- ・本部役員について 他

○第3回広報委員会 (11月7日)

- ・令和7年度運動方針及び委員会活動方針について 他

最新情報はホームページにアクセス！

近 税 政

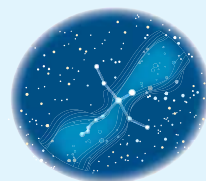
検 索

または <https://kinzeisei.jp/> へ

.....
会員専用ページのパスワードのお問い合わせは事務局まで

銀河系

自民党総裁選



7月の参議院議員通常

選挙が終わって3カ月という期間を経て、10月21日に衆参両院の本会議において第104代内閣総理大臣に自民党の高市早苗総裁が指名された。憲政史上初の女性首相の誕生である。この間の状況を見てみると、自民党の旧態依然とした総裁選挙、その結果を受けての公明党の与党からの離脱と日本維新の会との連立の成立と大きく変化した。しかし、少数与党の状態は変わらない。政策を進めていくには多党間の合意形成が必須であることは今までどおりである。物価高対策を含む経済政策を迅速に進めていただくことを期待したい。首相就任の記者会見では、補助金と租税特別措置法の見直しについて表明されている。税制は国民生活に直結するものであり、われわれ税理士にはその動向に注目し、クライアントへの的確な情報発信をしていくことが求められる。

(堺支部 大谷富太郎)

11月末発売予定。是非お買い求めください。
お申込み、お問い合わせは下記へお願い致します。

税務便覧

令和7年分 確定申告のための

確定申告業務の必携アイテム



わかりやすい

所得税・贈与税・消費税・
住民税・事業税の申告
及び
相談業務を迅速かつ
的確にサポート!!

監修

日本税務会計学会 税法部門副学会長
税理士 宮森 俊樹

A4判・総16頁 定価 440円(税込)

出版元／販売元
京都税理士協同組合

〒604-0943 京都市中京区麩屋町通御池上ル上白山町258-2
TEL 075-222-2311 FAX 075-222-2355
mail kyozei@kyozei.or.jp

特色

- ① 確定申告業務に必要な事項がコンパクトに収録されています。
- ② 収録項目を縦覧しやすいように見開き型を採用しています。
- ③ 見やすさを追求したカラー印刷です。
- ④ 最新の税制改正に対応

つながる力が発展に 手と手とりあい、さらなる向上へ

－ 組合事業に一層のご協力をお願いいたします －



大阪・奈良税理士協同組合

大阪・奈良税理士協同組合は「組合員の相互扶助の精神に基づき、組合員のための共同事業を行い、経済活動を促進し、その経済的地位の向上を図る」ことを目的としています。（定款第1条）スケールメリットを活かした事業を行い、その収益を組合員の皆様へ還元しています。

保険事業

全国税理士共栄会

VIP大型総合保障制度
全税共年金

近畿税理士企業共済会

総合事業保障プラン

その他

自動車保険、火災保険
団体ゴルフ保険

積立年金事業

阪奈積立年金制度

※満71歳まで加入できます。

共済制度

小規模企業共済制度

中小企業倒産防止共済制度
（経営セーフティ共済）

中小企業退職金共済制度
（中退共済制度）

あっせん事業

税理士業務関連

不動産業務関連

クレジットカード・ローン

健康（人間ドックなど）

レクリエーション（観劇など）

その他（生活雑貨、衣料品、冠婚葬祭、カーリース
など）

※一部WEB販売（書籍、筆記具、PCなど）

〒540-0012 大阪市中央区谷町1-5-4（近畿税理士会館11F） TEL (06) 6941-6888 / FAX (06) 6947-2800

<https://www.hanna-zeikyo.jp>